

2026 年 7 月 1 日

岐阜県内で救急搬送された方へ

「救急搬送と気候因子の関与に関する既存情報を用いる研究」への協力のお願い

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センターでは、岐阜県内で救急搬送された方の情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2012 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に岐阜県内で救急搬送された患者

研究期間：研究実施許可日～2031 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法：雨が降る前になると体調が悪くなる、関節が痛むなど急な天気の変化に身体のリズムがついていけず、病気の原因となってしまう場合があります、これを気象病と定義されています。気象病を引き起こす原因として気圧・気温・湿度があげられています。本研究の目的は救急搬送データベースを元に、気候の変動と疾病の発生の関連を調査するものです。過去の報告では脳卒中や急性冠症候群の発生について気候との関係が報告されていますが、これらは冬場に多い、夏場に多いなど、あくまで季節性の発生を見るにとどまり、気候の変動との関係との調査は行われていません。本研究によりその関連が明らかとなれば疾病発症のメカニズム解明の一助となると考えられます。

研究に用いる情報の種類：

以下の項目を岐阜県消防協会の救急搬送データベースより取得します。

- ① 年齢、性別、診断名、搬送場所、搬送時刻、事故種別、呼吸状態、意識状態、血圧
以下の項目を気象庁のデータベースより取得します。
- ② 搬送日の平均気温、降水量、平均湿度、平均現地気圧、平均海面気圧、平均雲量

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。本研究は個人を特定できないデータを使用しており、研究の参加に拒否を表明される場合でもデータの削除はできません。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結

果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

氏名：三宅 喬人

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

電話番号：058-230-6448

氏名：三宅 喬人

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp